

研究課題名	小児眼疾患の治療成績
研究責任者名	広島大学病院 眼科 准教授 廣岡 一行
研究期間	許可日 ~ 2024年9月30日
対象者	1992年2月1日~2022年9月30日の間に、広島大学病院眼科で小児眼疾患と診断された患者さん。
意義・目的	小児眼疾患として主に小児緑内障があります。小児緑内障は角膜径の増大、眼軸長の延長など眼球の形態を変化させるだけでなく、眼瞼の形状にも影響を及ぼします。小児緑内障に併発した眼瞼内反症や、peters 奇形などの全身疾患に併発した小児緑内障の特徴を明らかにし、当院での治療成績を検討します。
方法	研究者が所属する眼科内の診療録等の過去の診療情報を用いて、専ら集計、簡単な統計・処理を行う研究です。研究に用いるデータは患者さんの年齢、性別、眼圧、眼軸長、角膜径、眼合併症、眼手術歴です。診療録から得られたデータから、氏名、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付け、対象者を識別できないように個人情報を加工します。 利用開始予定日：2020年7月20日（実施許可日）以降
共同研究機関	なし（本学単独研究のため外部への情報の提供は行いません）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 眼科 准教授 廣岡 一行
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5247 広島大学病院 眼科 准教授 廣岡 一行（研究責任者） 広島大学医系科学研究科視覚病態学 助教 小松 香織（担当者）